

KYOTO COOP 京都生活協同組合

- 📍 所在地：京都市南区吉祥院石原上川原町1-2
- 📍 業態：スーパーマーケット
- 📍 市内店舗：コープにしがも ほかに11店舗
- 📍 店舗事業のほか、宅配事業や福祉事業、共済事業、葬祭事業を実施
- 📍 URL：<https://www.kyoto.coop/>



<地域・社会貢献に対する取組方針>

京都生協では、一人一人の暮らしを支え、安心して暮らせる社会の実現に向けて尽力するとともに、組合員、職員、生産者、取引先、関係団体、行政、地域社会と力を合わせてSDGsの実現に資する取組を進めています。

そのために実現したい姿として、①京都生協の総合力で普段の暮らしへの役立ちを高め、②誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを進め、③持続可能な世界の実現に貢献し、④多様性を認め合う活力ある組織を目指していくことを掲げています。



◆地域・社会貢献の取組

～地域課題や社会課題の解決に取り組む団体を応援！～

◆京都生協社会貢献活動助成金制度の運用を開始（2019年度～）

京都生協では、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりの推進を図るため、京都府を拠点にSDGs※に貢献する取組を行っている団体を支援する「京都生協社会貢献活動助成金制度」を新たに創設しました。

2019年度は8団体130万円、2020年度は7団体154万円の助成を行いました。

助成金を活用した各団体の活動内容については、取組の確認を行ったうえで、ホームページや広報ちらしで報告を行っています。



※ 2015年9月の国連サミットで採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2030年までに世界の国々が力を合わせて達成を目指す共通の目標

■取組のきっかけ

消費者の暮らしを取り巻く不安は多岐にわたっており、京都生協ではこれまでから「安心して暮らせる地域社会づくりへの参加」に取り組んできました。全ての課題に直接関わることは難しいですが、助成金制度を創設することで、様々な地域課題や社会課題の解決に取り組む団体の支援をとおして、SDGsの実現に寄与できると考えました。



2020年度社会貢献活動助成金贈呈式

■助成金を使った活動例

花パノ(伏見区)

高齢者や障害者が情報格差に取り残されないよう、スマートフォンやタブレットの使い方をサポートする講座を開催！



今熊野生活支援 あしの会(東山区)

今熊野地域における高齢者等への生活移動支援のため、月4回運行している貸切乗り合いタクシーを運営！



認定NPO法人 テラ・ルネッサンス(下京区)

カンボジアの地雷埋設地域の自立支援や必要機材の提供、村の協同組合運営の補助などを実施！



特定非営利活動法人

ぞらいろプロジェクト(伏見区)

椅子に座って髪を切ることができない発達障害児のヘアカットを行う理美容師を増やすための講習会を開催！



■成果・効果

助成金には使途の制限を設けていないため、人件費や物件費などの固定費にも充当でき、非常に使いやすいものとなっています。そのため、多様な活動への支援につなげることができ、地域課題や社会課題の解決の一助となったのではないかと考えています。

また、助成金の交付に加え、ホームページや広報ちらしなどで団体の活動を紹介できたことも良かったと思います。

■今後の展開

助成金による各団体の活動支援に加え、今後は、学習会の実施など助成団体と連携した取組を促進していきたいと考えています。

また、京都生協では、お買い物支援や福祉サービス、子育て支援、廃棄物の削減・再資源化など様々な取組を推進していますので、今後も一人一人の声を大切にしながら、地域社会の一員としての役割を發揮していきたいと考えています。

取材者ひとこと

京都市内に12店舗を展開し、「食」をサポートする店舗事業や宅配事業だけでなく、福祉事業や共済事業、葬祭事業と幅広いサービスを提供している京都生協さん。今や多くの方にとってなくてはならない存在となっています。生協の商品＝安心・安全というイメージを抱く方も多いのではないのでしょうか。

今回は、2018年に創設した新たな取組である「京都生協社会貢献活動助成金制度」をご紹介させていただきましたが、京都生協さんではSDGsの達成に貢献する取組に非常に力を入れており、幅広いアプローチで事業を展開されています。今後も積極的な取組の推進により、市民の方々と共に安心して暮らせる地域社会を築かれることを期待しています。